事例No.	2063
公表年度	R4
団体の属性	指定都市
団体名	京都府京都市

事例区分	DX

タグ	・人材確保・育成 ・AI ・ICT

事例種類	労働

事例内容・タイトル

AIを活用したオンライン就労支援サービスの提供

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

83 AIを活用したオンライン就労支援サービスの提供【京都府京都市】

事業の概要

○ 京都市では、主に就職氷河期世代の方を対象に、SNS上で「仕事紹介」や「キャリア相談」などが利用できるオンライン就労支援サービスである「キャリアジム京都」を提供している。

○ 利用者は、SNSを活用することで、24時間いつでもカウンセリングの予約が可能であるとともに、AIチャットボット機能により要望や相談を入力することで、ニーズに応じた各種サービスへとたどり着くことができる。

○ 自身のパーソナルスキルや職業的価値観等に関する質問に回答することで、AIが利用者と相性のよい企業を提案する機能「AIマッチング」も搭載した。



チラシ

【参考情報①】 人口：145.0万人
関連URL：
https://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/page/0000287561.html （市HP）

【参考情報②】地域就職氷河期世代支援加速化交付金（内閣府）とは
URL：https://www5.cao.go.jp/keizai1/c_hyogaki/c_hyogaki.html

もっと知りたい！ 担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）
支援を必要とされている就職氷河期世代の方は、所在を掴むことが難しく、訴求することが困難でした。
そこで、アプローチしやすく、身近で手軽に就職や転職につながる機会を提供することができるLINEを活用した本サービスを導入しました。



（京都市）



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？

導入に当たっては、内閣府の地域就職氷河期世代支援加速化交付金（令和２年度から３年間）を活用しました。





事業の近況を教えてください。

令和３年度は、約1,400人に登録いただきました。
登録をきっかけにカウンセリングを受けられ、自分でも気付けなかった強みが明確になり、正規雇用につながったケースもあります。本サービスをより良いものに進化させ、多くの方に利用いただくため、日々、サービスを改善したり、登録企業の開拓にも力を入れています。



★担当：京都市産業観光局 産業企画室★

令和3年度事業費　15,999千円
（うち、地域就職氷河期世代支援加速化交付金（内閣府）
11,999千円）